

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年11月15日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年11月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号機原子炉格納容器ガス管理設備モニタB系分電盤(B)における地絡発生について】 当社運転員が免震重要棟の集中監視室において、2号機原子炉格納容器ガス管理設備モニタB系分電盤(B)において地絡警報が発生し、当該設備のサンプリングポンプが停止したことを確認。 これに伴い、希ガスモニタ等が監視不能であると判断。 なお、2号機原子炉格納容器ガス管理設備モニタA系については監視可能であり、プラントデータ監視に支障なし。 現場確認の結果、2号機原子炉格納容器ガス管理設備モニタB系及び分電盤(B)に接続する回路に異常は確認されなかった。 その後、当該サンプリングポンプを起動し、2号機原子炉格納容器ガス管理設備モニタB系の希ガスモニタ等が監視可能な状態に復帰。 今後、原因を調査し、対策を検討予定。</p>	GⅢ	11月13日
2	<p>【放射線管理月報及びデータ公開の値の一部誤りについて】 協力企業作業員が、10月の放射線管理月報の作成時に、8月および9月の月報の固体廃棄物貯蔵庫10棟表面汚染密度について、値に誤りがあることを確認。 計算式が変更になっていたが、前回使用した変更前の計算式を使用してデータを作成したことが原因。 正しい計算式にて表面汚染密度を算出し、建物の放射線管理に問題は無いことを確認。 8月および9月の月報については、HPIに公開済のため訂正を行う。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	11月12日